

累積報告数・累積定点当り報告数、疾病、都道府県別

2018年11週(03月12日～03月18日) 2018年03月23日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	42764	8.65	1392	0.44	946	0.3	8485	2.69	15828	5.01	767	0.24
山梨県	372	9.07	1	0.04	-	-	62	2.58	80	3.33	2	0.08
中北	119	8.50	-	-	-	-	26	3.25	36	4.50	1	0.13
中北峡北	63	7.88	1	0.20	-	-	16	3.20	6	1.20	1	0.20
峡東	92	13.1	-	-	-	-	6	1.50	8	2.00	-	-
峡南	6	2.00	-	-	-	-	1	0.50	4	2.00	-	-
富士・東部	92	10.2	-	-	-	-	13	2.60	26	5.20	-	-

【警報レベル(開始～終息)】  
【注意報レベル】

30～10  
10

3～1

8～4

20～12

7～4  
4

2018年11週(03月12日～03月18日)コメント

インフルエンザは全ての保健所管内で前週よりも減少しており、中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内の警報レベルは解除となりました。峡東保健所管内、富士・東部保健所管内の警報レベルは継続しています。

感染性胃腸炎は中北保健所管内、富士・東部保健所管内で依然として多い報告数となっています。

感染症予防のため、咳エチケットや手洗い、うがいを励行しましょう。また、症状がある場合には早めに医療機関を受診しましょう。

【今週の警報】：インフルエンザ(峡東保健所管内、富士・東部保健所管内)

【今週の注意報】：なし

県全体のインフルエンザ警報レベルについては「警報レベルにある全ての保健所の管内人口の合計が県人口全体の30%を超えた場合」と定義しています。このため、県全体の報告数は10/定当を下回っていますが、警報レベルとなっています。

山梨県集計(2018年11週(03月12日～03月18日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ 9.07 / 定当  
感染性胃腸炎 3.33 / 定当  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2.58 / 定当

全国集計(2018年11週(03月12日～03月18日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ 8.65 / 定当  
感染性胃腸炎 5.01 / 定当  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2.69 / 定当  
流行性角結膜炎 0.54 / 定当  
RSウイルス感染症 0.44 / 定当

保健所別で報告が多い疾病順(2018年11週(03月12日～03月18日))

インフルエンザ 峡東 13.1 / 定当  
感染性胃腸炎 富士・東部 5.20 / 定当  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 中北 3.25 / 定当





2018年11週(03月12日～03月18日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	95	0.20	3	0.01	198	0.41
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】